

新宮山彦ぐるーぷ第2280回

行仙宿から俱利伽羅岳までの奥駈道点検

◇実施日 3月16日(土)、17日(日) 晴後雨

◇参加者 梶野照雄 1名

3月10日に持経宿から怒田の水場分岐を経て白谷トンネル西口までを歩いたが、俱利伽羅岳の南側で道を誤り、30分ほどをロスした。俱利伽羅岳の南側には複数の踏み跡があり、逆峰の場合間違いが起きやすい。そこでビニールテープを用意して、マーカーを増やすことにした。

3月16日



1台駐車



行仙宿に着く



水場を掃除

十津川からR425を通って、午後3時過ぎ登山口に着く。すぐに車が一台停まっていた。モノレールに荷物を積んでいると熟年ご夫婦が階段を降りてきた。笠捨山へ行ったらしい。

行仙宿に着き、荷物を管理棟に入れてから水場に降りる。去年の12月10日以来、約3ヶ月ぶりの水場確認だ。水場は少ないながらも流れがあり落石も少なく、掃除はすぐに終わった。

行仙宿に戻りストーブに火を入れ、管理棟の石油ストーブを点ける。小屋内は12℃になったが、外は風が強く体感気温は低い。先日電池を交換した時計は正確な時間を示していたので小屋に持ってきていたお堂の時計を元に戻した。



12℃になった

時計は合っていた

トレランの3人

管理棟で夕食を摂り、午後7時、小屋のストーブを消そうとしたとき鈴の音が聞こえた。もう真つ暗になっていたがトレランの3人がやってきた。小屋に招き入れて話をする。

太尾の登山口から玉置山まで行くそうだ。太尾までの林道が冬季通

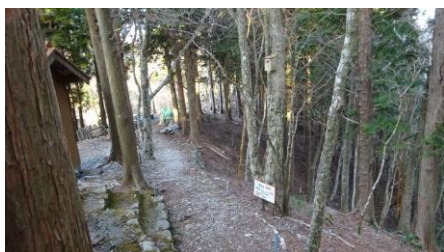
行止めなのを知らず、ゲートから登山口までを走ったそう。そのため2時間位遅れているらしい。3人で暫く協議していたが、行仙宿で泊って明日午前3時に出発することになった。午後8時半に発電機を止めて消灯、管理棟に戻って寝床の用意をする。箱に入っていた枕を出す、何ヶ所もビニール袋がかじられて中のそば殻が散乱していた。かじられていない物を探し出して使った。

3月17日

午前4時半に目が覚めたので小屋を見に行った。3人はもう出て行ったようで誰もいなかった。毛布もきれいに戻されていた。一晩中薪を足していたらしく、コンテナの薪は空っぽだった。午前6時前に朝食を済ませ、枕の状態を確認。6個の内の3個に穴が開いていた。そば殻の枕はやめた方がよさそうだ。



枕がかじられた



行仙宿を出発



行仙岳北の段差

午前6時45分、俱利伽羅岳に向けて出発。30分ちよつとで行仙

岳に着く。途中、枯枝が数本落ちていたが、太いものは無く全て排除した。行仙岳北側の段差は、杭が浮いている所が複数あり、大幅な改修が必要だ。



怒田宿跡



10日に切った木



テープを付けながら



本日の参加者



10日の軌跡



本日の軌跡

怒田宿跡を過ぎて順調に進む。俱利伽羅岳の手前で少し雨が降ってきた。空は晴れているのでまだ本降りになる様子はない。10日に切った木を見つけたので、俱利伽羅岳には登らず引き返す。帰りながらテープを数十カ所につける。10日に間違った所は正確には判らなかつたが、岩場のトラバース北側を降りていたようだ。

怒田宿跡を過ぎ、行仙岳の捲き道経由で行仙宿に戻った。この間の奥駈道に異常は無かつた。

小屋で昼食を摂り、午後0時40分に下山した。 (記：梶野)

行動タイム

16日 補給路登山口 15:20→16:02 行仙宿→16:23 水場→17:10 行仙宿

17日 06:45 行仙宿→07:17 行仙岳→07:37 怒田宿跡→09:23 俱利伽羅岳南→10:52 怒田宿跡→11:19 行仙岳捲き道分岐(南側)
↓11:43 行仙宿 12:40→13:13 補給路登山口